

網走工業が除雪ボランティア

## 春の野鳥観測を楽しんで

### 道立オホーツク公園で実施

【網走発】網走工業(株)（網走、笠谷俊一社長）は二日、網走市内の道立オホーツク公園で除雪ボランティアを展開。春の野鳥観測を楽しんでもらおうと、センターハウス前や園路・散策路をきれいに除雪した。

同公園は総面積百七・五畝という広大な敷地に、アウトドアレジャーやレクリエーションのための様々な施設を完備。とりわけキャンプ場などは、管内はもと



よの道内外からも多くの利用者が集まる人気スポットとなっている。

今回の除雪ボランティアは、例年雪解けすぐに開催されていたマラソン大会のために、同社が一肌脱ぐと除雪作業を担っていたのがきっかけ。

現在では大会自体は開催されていないものの、公園整備関連工事に携わったことや、完成したセンターハウスが笠谷社長のケーナ（南米の民族楽器）の練習場となっていたことなど思い入れが深く実施したものの。除雪ボランティアとしての取組もことしで八年目を迎えた。

当日は笠谷社長をはじめ職員十人が参加。センターハウス前では、一畝ほどに積もった雪をロータリー車で飛ばし、手作業で丁寧に除雪した。写真。また、終日かけて敷地内の園路や散策路もきれいに仕上げた。

広大な緑あふれる園内にはいくつもの鳥の巣箱が設けられており、野鳥の観測にはもってこいの環境が整えられている。笠谷社長は「ことは気温が低く雪解けが遅い。一日も早く野鳥ウォッチングが楽しめるよう手助けになれば」と話していた。